

猿投山・籠川 ガイドブック

猿投の魅力
再発見！

のどかな自然の中で

雄大な姿を見せる猿投山と

清らかに流れる籠川

さあ、この里をゆっくりと

巡り歩いてみませんか



猿投山・籠川ガイドブックの発刊に寄せて

猿投地区には数多くの名所があり、中でも猿投山は市内外から多くの人たちが訪れています。しかし、訪れてくれる人たちに地区の魅力を知ってもらおうとしても、その手段に乏しいのが実情です。

そこで、住民と行政が共働でまちづくりに取り組む仕組みである「地域会議」の中で、猿投地区の自然資源として代表される猿投山と籠川に焦点をあてたガイドブックを作成しようという意見が出ました。このガイドブックの作成は地域会議の提案を市の予算に反映させる「地域予算提案事業」として事業化されたもので、3人の編集委員が約半年間の編集作業に携わりました。

編集にあたっては、初めて猿投地区を訪れた人が名所を訪ねたり、ウォーキングコースを回ったりできるよう、地図に加えて多くの写真を掲載しました。猿投地区の魅力がガイドブックを手にした皆さんにお伝えできれば幸いです。

最後になりますが、ガイドブックの作成にご尽力いただいた3人の編集委員に感謝と敬意を表し、発刊に寄せての言葉とさせていただきます。

平成28年2月
猿投地域会議 会長
浅井 久



Sanageyama · Kagogawa guidebook

猿投山・籠川 ガイドブック

04 猿投山・籠川アクセスマップ



06 猿投山と籠川を知る

猿投を歩こう！てくてくマップ[°]



08 ◆猿投山登山コース



10 ◆猿投神社コース

12 ◆舞木廃寺塔跡コース

14 篠川沿いの散策ポイント



16 猿投山からの眺望

18 歴史遺産

20 名所

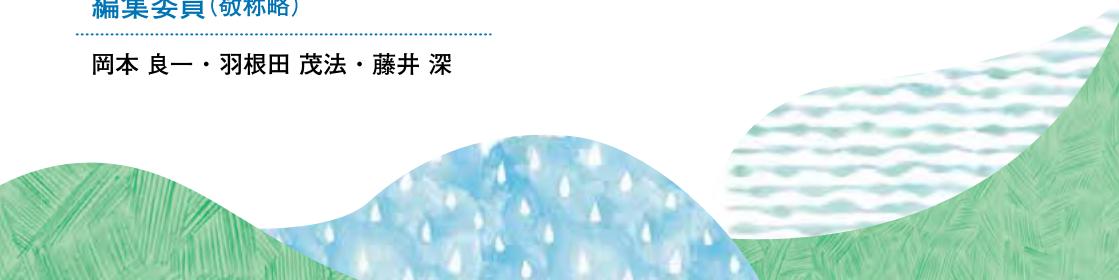
24 猿投山周辺の自然

26 篠川にすむ生き物

28 猿投山周辺に伝わる文化

編集委員(敬称略)

岡本 良一・羽根田 茂法・藤井 深



猿投山・籠川 アクセスマップ

自然いっぱいの猿投を歩こう!

猿投山 Sanageyama

(登山者用駐車場／豊田市猿投町大城7-10)
(登山者・猿投神社参拝者共用駐車場／豊田市猿投町瀬戸戸48-13)



車

- 猿投グリーンロード・**加納インターチェンジ**から約5分
(名古屋方面から来る場合のみ出られます)
- 東海環状自動車道・**豊田藤岡インターチェンジ**から約5分
- 豊田市中心部から約30分



とよたおいでんバス

●名鉄豊田市駅(西口)から、とよたおいでんバス**藤岡支所行き**
(藤岡・豊田線<加納経由>)に乗車し、**猿投神社前**で下車

籠川 Kagogawa

(籠川近隣の公共施設:猿投北交流館／豊田市加納町西股67)



車

- 猿投グリーンロード・**加納インターチェンジ**から約5分
(名古屋方面から来る場合のみ出られます)
- 東海環状自動車道・**豊田藤岡インターチェンジ**から約5分
- 豊田市中心部から約25分



とよたおいでんバス

●名鉄豊田市駅(西口)から、とよたおいでんバス**藤岡支所行き**
(藤岡・豊田線<加納経由>)に乗車し、**猿投北交流館西**で下車

猿投地区

豊田市

↑至猿投中学校

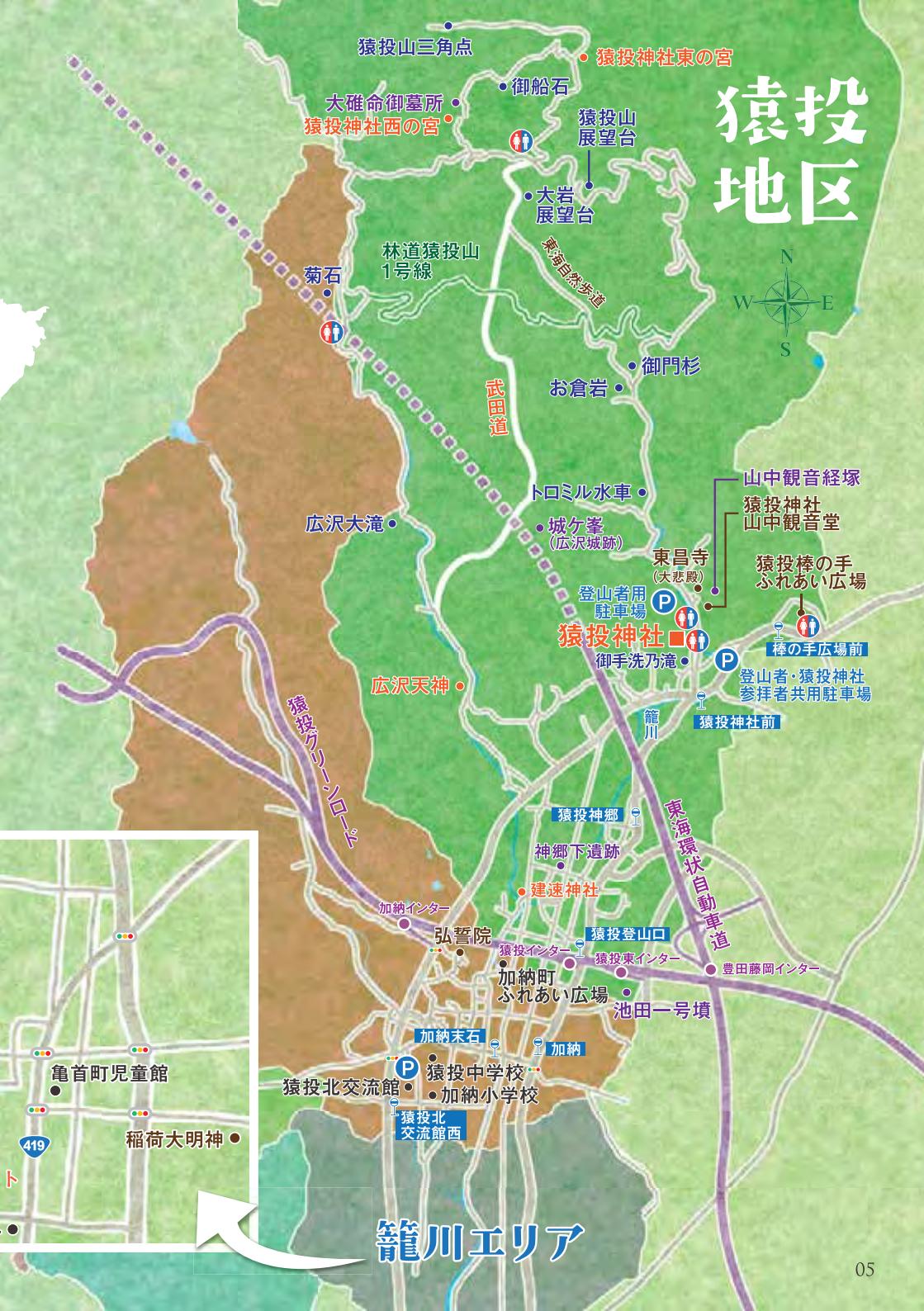
籠川

熊野神社

散策ポイント

コンビニ

猿投地区



籠川エリア

猿投山と籠川を知る



猿投山

Sanagyeyama

猿投山(標高629m)は豊田市の北西部にあり、愛知高原国定公園の北西部にも位置します。古くから靈山として人々に崇められ、山ろくには、豊川市の砥鹿神社、知立市の知立神社と並ぶ三河国の三宮のひとつ、猿投神社があります。猿投山展望台に立つと西側と南側には眺望を遮るものもなく、濃尾平野や名古屋市内はもちろん、空気の澄んだときには知多半島や三河湾まで眺めることができます。

猿投山と言われるようになった由来

猿投神社の祭神の12代景行天皇が伊勢の国へ行幸したとき、一緒に連れてかわいがっていた猿がいたずらを重ねたため、天皇は立腹して猿を海へ投げ捨ててしまいました。猿はその後、鷲取山(現在の猿投山)に隠れ住むようになったことから猿投山と言われるようになったそうです。ほかにも諸説がありますが、確固とした由来は明らかではありません。

豊田市内各所から撮影した猿投山



豊田市中心部から



高橋地区から

3

豊田市中心部から車で約30分。猿投地区は豊かな自然が自慢です。
ここでは地区のシンボル、猿投山と籠川を紹介します。



籠川 Kagogawa

籠川(河川延長11.7km)は、猿投地区北端の猿投山に発し、丘陵地を流れながら伊保川等の支流を合わせ、東梅坪町地内で矢作川に合流しています。川の中・下流域は猿投山を背景に丘陵地をなだらかに流れ、散歩やウォーキングする人も多く見られます。また、豊田市が平成26年度に整備した散策ポイント(14・15ページ参照)は、猿投山が北正面に一望できる場所にあり、ウォーキングする人たちの憩いの場となっています。

籠川流域、季節の自慢



流域に広がる桃畠で、
桃の花が一面に咲く様子は、
まさに桃源郷です。



清らかな流れの音にのせて、
ホタルが川辺を
飛び交います。



紅葉した猿投山を
眺めながらのウォーキングは
いかがでしょう。



猿投を歩こう！てくてくマップ

靈峰・猿投山をぐるっとひとまわり

猿投山登山コース

猿投町、加納町

健脚
コース

ふれあい広場
猿投棒の手

0.7
km

猿
投
神
社

注意 トイレの場所は限られています。ご注意ください。
↑は道しるべのある場所です。

猿投山三角点

猿投神社東の宮



大碓命御墓所

猿投神社西の宮

東の宮分岐

御船石

大岩展望台

東海自然歩道

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

D 菊石

飯塚郡本郷福井県
飯塚ヨシノホラ

N
W
E
S

武田道

東昌寺

登山者用駐車場

猿投神社

猿投棒の手
ふれあい広場

P

スタート／ゴール

広沢天神

広沢大滝

猿投七滝

C 血洗いの滝

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社東の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社西の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

猿投神社東の宮

ニツ釜滝

白霧滝

千鳥滝

白菊滝

乙女滝

菊石

東の宮分岐

御船石

猿投山展望台

大岩展望台

東海自然歩道

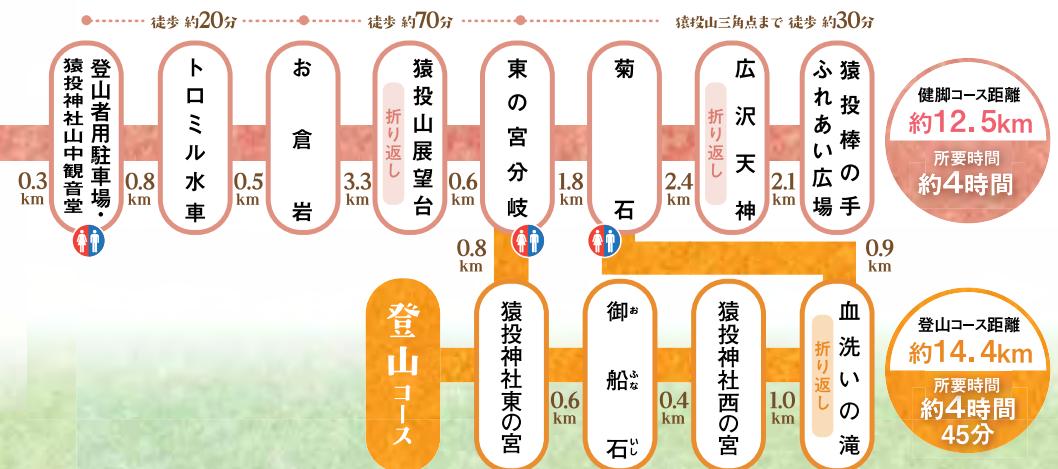
林道猿投山1号線

猿投神社西の宮

猿投山三角点

大碓命御墓所

</div



A

猿投神社山中観音堂



猿投神社の鬼門除けの寺として、平安時代に創建されました。本尊は平安時代中期の作、建物は豊田市内で最古の室町時代末期の建造といわれています。

B

トロミル水車



トロミル水車とは、サバ土の入った「トロミル」というドラム缶のようなものを水車の動力で2昼夜回転させ、良質な陶磁器の原料となる石粉をつくる装置です。

C

ち あら 血洗いの滝



猿投山で毒蛇にかまれた猿投神社の祭神、大碓命が傷口から流れ出た血を滝の水で洗い流したことから、血洗いの滝と呼ばれるようになりました。

D

きくいし 菊石



広沢川の川床に、菊の花弁のように見える花こう岩があります。このような現象は珍しく、国指定の天然記念物になっています。



猿投を歩こう！でくてくマップ

猿投山ろくの神社とお寺を巡る

猿投神社コース

猿投町、加納町

猿投神社コース

猿投北交流館

1.4 km

注意 トイレの場所は限られています。ご注意ください。
↑は道しるべのある場所です。

登山者用駐車場 D 猿投神社 山中観音堂

C 猿投神社

東海環状自動車道



E 広沢天神

B 神郷下遺跡

A 建速神社

加納I.C.

豊田藤岡I.C.

猿投I.C.

猿

投

I.C.

弘誓院

稻荷

神社

加納

駐在所

横断歩道を

渡りましょ

猿投グリーンロード

猿投中学校
加納小学校

スタート／ゴール

猿投北交流館

※イラストはイメージです。



A

たけはやじんじゃ 建速神社



すさのおのみこと

祭神は素佐男命で、猿投町下切地区の神社として祭られています。毎年7月の天王祭では、山車の上で独特な音色の太鼓ばやしが演奏されます。(31ページ参照)

B

じんごうしたいせき 神郷下遺跡



縄文時代中期の土器片、土偶片、石おのなど約200点が出土しました。また、各地の土器や石器が見つかったことから、当時の多様な交流がうかがえます。

C

さなげじんじゃ 猿投神社



標高629メートルの猿投山に東の宮・西の宮を祭り、本社と合わせて猿投三社大明神と呼ばれていました。秋の大祭には、愛知県無形民俗文化財の棒の手が奉納されます。

D

さなげじんじゃやまなかかんのんどう 猿投神社山中観音堂



猿投神社の鬼門除けの寺として、平安時代に創建されました。本尊は平安時代中期の作、建物は豊田市内で最古の室町時代末期の建造といわれています。

E

ひろさわてんじん 広沢天神



猿投山西入口の広沢川に面した場所に鎮座し、少名彦命を祭神に祭っています。少名彦命は出雲大社の祭神、大国主命と共に国をつくり固めた神でもあります。



猿投を歩こう！てくてくマップ

太古のロマンと心なごむ水辺散策

舞木廃寺塔跡コース

加納町、亀首町、舞木町

舞木廃寺塔跡コース

徒歩 約40

2.3 km



※イラストはイメージです。

注意 トイレの場所は限られています。ご注意ください。
↑は道しるべのある場所です。



A

くまのじんじゃ 熊野神社



さたけごんのしんこれたか

佐竹權之進維高が熊野三所権現へ参拝し、7度目の満願で靈龜を得て創建しました。維高は姓を機谷と改め、代々にわたり熊野神社の神官を勤めました。

B

まいぎはいじとうあと 舞木廢寺塔跡



塔の中心にあった基礎石が元の位置の状態で残り、その周囲には礎石と思われる3個の石もあり、7世紀後半の寺院の跡と考えられています。国指定の史跡です。

C

てんぱうだい 展望台



展望台の周辺は、桜畑が広がっています。3月下旬から4月上旬の桜の開花時期に展望台から見渡す桃色のじゅうたんは圧巻です。

D

さなげじんじゃいちのとりい 猿投神社一之鳥居



猿投神社の鳥居は本社総門前のほか舞木町にもあり、一之鳥居と言われています。もとは梅坪町に一之鳥居があり、鳥居下の地名も残っていました。

定期的に通ってスッキリ! リフレッシュ!!

籠川沿いの散策ポイント

散策ポイント(亀の子公園)は、猿投山を北正面に望む景観のよさが自慢。ウォーキングや散策の途中にぜひ、お立ち寄りください。5種類の健康器具のほか、趣向を凝らしたマレットゴルフのコースもありますよ!



散策ポイントの所在地: 豊田市亀首町下向イ田97

やってみよう!

順番に使用すると効果がありますよ♪

気持ちのよい空間で健康器具を使ってみよう!



1 【背のばしベンチ】

Lesson

気軽に背のばしのできる機能を備えたベンチです。



3 【ツイストボード】

Lesson

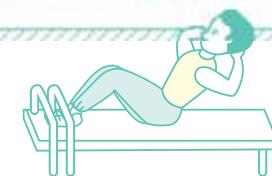
体ひねり、腰ねじりなどのストレッチ運動ができる器具です。



5 【パラレルハンガー】

Lesson

懸垂や、ぶら下がり運動ができるバーと平行棒を組み合わせた器具です。



2 【腕立てボード】

Lesson

立った姿勢で腕立て運動を行う器具です。



4 【腹筋ベンチ】

Lesson

足掛けと、ひざ上げパイプ付きの腹筋運動の機能を備えたベンチです。



マレットゴルフ場の利用について

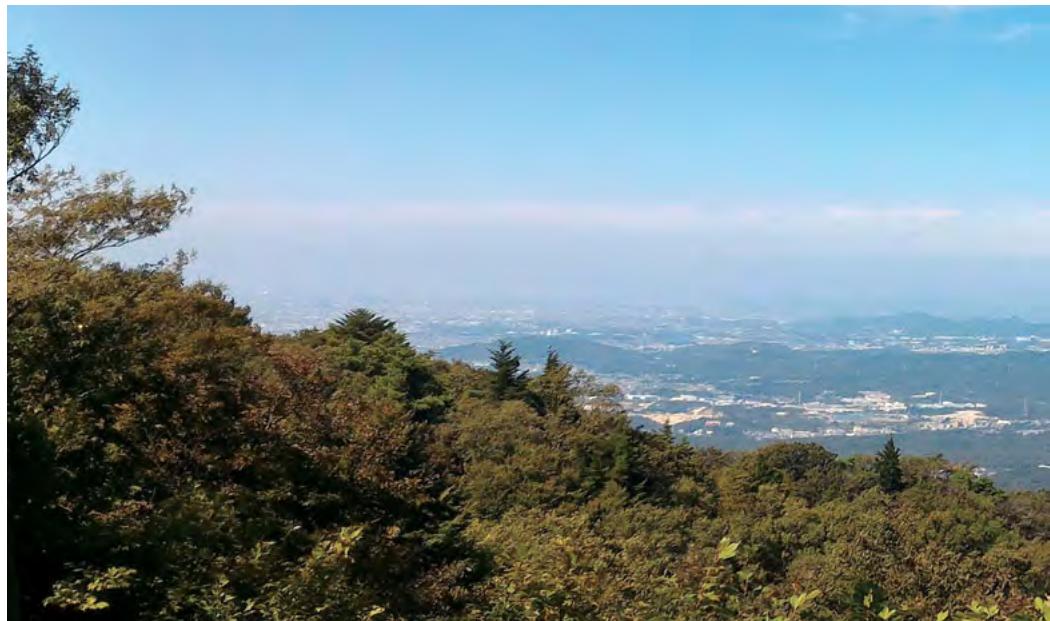
●利用料金 無料

●利用時間 3月～11月：午前7時～ 12月～2月：午前8時～

※5組以上でプレーする場合は事前申し出が必要。連絡先は現地の看板に記載

猿投山からの眺望

登山の疲れ
眺望ポイントからは豊田



をいやす景観をお楽しみください。

市街地はもちろん、遠くは木曽の山々も見渡せます。



猿投山山頂

瀬戸市・春日井市・白山方向の眺望



大岩展望台

豊田市街地方面の眺望

歴史遺産

猿投山と籠川周辺で、歴史を感じるスポットを紹介します。



おおうすのみこと ご ぼ し ょ
大碓命御墓所

大碓命は景行天皇の皇子で小碓命と双子の兄弟といわれており、猿投山で蛇にかまれて亡くなったと伝えられています。これが縁で猿投神社の祭神として祭られるようになりました。墓所は西の宮と隣接しており、石垣に囲まれて中は土盛の半円型になっています。土盛は七色の土を使って築かれ、棺は土器で作られたといわれています。なお、小碓命は日本武尊として有名です。



● 広沢城跡

城ヶ峯の山頂に築かれた戦国時代の城です。標高289mの山頂から尾根一帯に城の遺構が残っており、周辺から武器類が出土したと伝えられています。城主は不明で、一説には小原市場城主の鈴木(鱸)氏とも言われています。



● 神郷下遺跡

縄文時代中期の土器片、土偶片、石おのなど約200点が出土しました。また、各地の土器や石器が見つかったことから、当時の多様な交流がうかがえます。



● 池田一号墳

約1,400年前につくられたこの地方の豪族の墓で、大正初期に行われた一帯の砂防工事により露出しました。この古墳は、大きな石材を使った横穴式の石室に特徴があり、県内で最大級ともいわれています。
(愛知県指定史跡)



● トロミル水車

トロミル水車とはサバ土の入った「トロミル」というドラム缶のようなものを水車の動力で2昼夜回転させ、良質な陶磁器の原料となる石粉をつくる装置です。
(この水車は復元したものです。)

猿投の名所

猿投山と籠川周辺で、ぜひ訪れてほしい名所を紹介します。



猿投神社西の宮

猿投山の西の峯にあたる山頂付近にあり、猿投神社を本社とする西方の奥の宮です。創建は東の宮と同じ記録を残すことから、ほぼ同じ時期の平安時代後期と推定されます。西の宮には南朝方の忠臣、児島高徳が寄進した木の葉丸という長巻(太刀)があったと伝えられています。境内に觀音菩薩を祭るお堂が建っていました。



■猿投神社東の宮

猿投山の東の峯にあたる山頂付近にあり、猿投神社を本社とする東方の奥の宮です。

祭礼記によると室町時代の貞和5年(1349年)、室町幕府の初代将軍・足利尊氏が東の宮に槍と鏡を寄進したとの記録がみられます。創建は定かではありませんが、平安時代後期と推定されます。このお宮にも西の宮と同じくお堂が建てられ、本尊には薬師如来を安置していました。



■猿投神社本社

その昔は、猿投大明神と呼ばれ、熱田神宮とともに、由緒ある神社として有名でした。また猿投神社は古くから、三河の国三の宮(一の宮=一宮、二の宮=知立、三の宮=猿投)として知られ、さらに江戸幕府より御朱印料(776石)を所領した神社としても名をはせていました。



■猿投神社 山中觀音堂

猿投神社に鬼門除けの寺として創建されたお堂で、豊田市内で最古ともいわれる室町時代末期に建てられたものです。猿投神社の境外にあったためか、明治維新の廢物毀釈で取り壊されず、現在でも当時の姿のままで残っています。

本尊は千手觀音菩薩で、平安時代中期の作といわれています。



■猿投神社紅葉林

猿投山ふもとの東昌寺大悲殿前の紅葉はとても美しく、訪れる人を楽しませてくれます。

例年、11月中旬から色づき始め、11月下旬にかけて見ごろとなります。



猿投の名所



広沢天神

猿投山の西入口の広沢川に面した場所に鎮座し、学問と医薬を司る神として信仰のある少名彦命を祭神に祭っています。少名彦命は、出雲大社の祭神、大国主命と共に国をつくり固めた神でもあります。
平安時代の延長5年(927年)に編さんされた法律書「延喜式」に加茂郡七社の一つとして記されています。



建速神社

たけ はや
猿投町の4つの嶋(地家・神郷・洞・下切)
のうち、下切の嶋の神社として祭られています。

創建は定かでなく、素佐男命を祭神としています。この神社の祭りは天王祭と呼ばれています。山車の中で演奏される太鼓ばやしは独特の音を響かせます。



血洗いの滝

ち あら
猿投神社の祭神である大碓命が、猿投山で毒蛇にかまれて傷口から流れ出た血を滝の水で洗い流したことから、この滝はいつの頃からか血洗いの滝と呼ばれるようになりました。滝の所在する一帯は、「血洗」の字名を残しています。



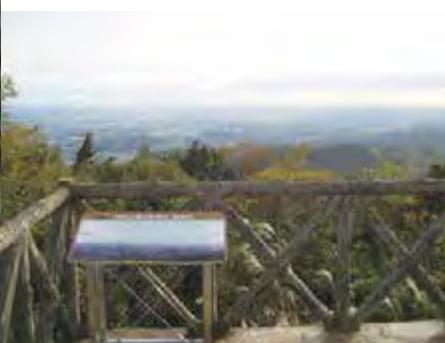
【広沢大滝】

広沢川に沿う道からひときわ水の流れる音が大きくなる場所に、滝への降り口があります。ここから上流には計7か所の滝があることから「猿投七滝」と言われており、中でも広沢大滝はもっとも落差の大きい滝になります。川の水はごつごつした岩の中を左右に向きを変えながら流れ落ち、あたりには迫力のある水音を響かせています。

【菊石】

球状花こう岩は、黒雲母花こう岩の中に白色の菊状の紋様があるところから「菊石」と呼ばれています。もっとも美しく見られるのは、岩が広沢川の清流から露出している部分で、まるで菊の花が水面に浮かびあがったように観察できます。

菊石は国の天然記念物に指定されており、観察はフェンス越しになります。



【猿投山展望台】

225段の階段を登った先にある展望台からは、豊田市街はもちろん、濃尾平野や名古屋市内、遠くかすんだ知多半島や伊勢湾、三河湾を眺めることができます。



【猿投棒の手ふれあい広場】

広場内の棒の手会館は、愛知県の無形民俗文化財に指定されている「棒の手」に関する資料を一堂に集め、展示・収蔵・研究のための設備を備えた本格的な資料館です。ウォーキングの前後に訪れ、猿投の民俗文化に触れてみてはいかがですか。



猿投山周辺の自然

豊田市指定の名木や籠川流域の桃畠を紹介します。

ツガの林 (マツ科)



猿投山の頂上付近、東の宮への登山道(東海自然歩道)沿いはかつて、ツガを中心とした大原生林が広がっていましたが、伊勢湾台風(1959<昭和34年>)により倒木が相次ぎました。しかし、現在では、登山道沿いの原生林の代表的な樹種がツガとなるほど、倒木を免れた木々を中心にツガの林が回復つつあります。

- 樹齢／不詳 ■ 樹高／30m ■ 幹周／3m
- 所在地／猿投町茂吉ヶ峯 猿投神社東の宮参道沿い

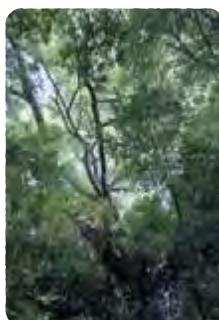
スギ (猿投神社境内) (スギ科)



猿投神社参道のスギ並木の中でひと際大きなスギで、木の高さや幹周りの太さは市内最大級です。樹木の上部がやや枯れ気味となり寂しげですが、横へ張り出す枝は太く堂々としています。このスギは猿投神社境内の神木として植えられたもので、建築用に使われたり枝打ちされたりすることもなく、大切にされてきました。

- 樹齢／500年以上(推定) ■ 樹高／33m ■ 幹周／5.7m
- 根回り／8.8m ■ 所在地／猿投町大城 猿投神社境内

ヤマザクラ (バラ科)



ツガと同じく、猿投山の原生林に残る高木のひとつで、ここの大山桜(ヤマザクラ)は県内最大級といわれます。公園などに植えられているソメイヨシノとの違いは開花にあり、芽吹き前に花を咲かせるソメイヨシノに対して、ヤマザクラは葉を出した後に薄いピンク色の花を付けます。ガクに毛がなく、寿命も長いといった特徴もあり、春の野山を彩るサクラとして親しまれています。

- 樹齢／300年以上(推定) ■ 樹高／18m
- 幹周／3.55m ■ 根回り／4.85m
- 所在地／猿投町茂吉ヶ峯 猿投神社東の宮参道沿い

ケヤキ (ニレ科)



猿投神社東の宮の境内より一段下の平地には、3本のケヤキが並んで生育しています。ケヤキは日本を代表する広葉樹で、豊田市の木としても選定されています。生長が早いため公園によく植えられているほか、美しい木目が好まれて柱や器にも使われます。山野に自生しているが、このケヤキは植樹されたものと思われます。

- 樹齢／200年以上(推定) ■ 樹高／25m
- 幹周／3.2m ■ 根回り／9m
- 所在地／猿投町御座所 猿投神社 東の宮境内

エノキ (ニレ科)



猿投神社東の宮の境内の東端に生育しており、根回りが10メートル以上もある大木です。エノキの漢字(檜)は、夏に大木が木陰をつくることから、夏の木を意味しています。このエノキの前面にスギが植えられているので、見過ごされてしまうこともあります。近くにはケヤキの群生も見られるので、両方の広葉樹を比較することができます。

■ 樹齢／150年以上(推定) ■ 樹高／23m
■ 幹周／3.1m ■ 根回り／11.9m
■ 所在地／猿投町御座所 猿投神社東の宮境内

スギ(東海自然歩道沿い) (スギ科)



猿投神社東の宮と西の宮との間の谷間に、3本の大木がそびえるように立っています。このスギが生育している谷間には、根元から泉がわき出でていたことから「井戸杉」といわれています。下枝もなく、まっすぐに伸びる3本の大木は、見ていて美しさを感じさせます。

■ 樹齢／400年以上(推定) ■ 樹高／35m
■ 幹周／5.1m ■ 所在地／猿投町鷺取 東海自然歩道沿

猿投神社社叢林



猿投神社の社殿の裏には大木のスギやヒノキに混じり、常緑高木のアラカシやシラカシ、スダジイなどのブナ科、亜高木のネズミモチ、ヤブニッケイ、サカキなど、低木のヒサカキ、マンリョウのはかシダ類も生育しています。社叢林は長い年月をかけて樹種が移ろい、安定した状態に到達した「極相林」を形成しています。

■ 所在地／猿投町大城 猿投神社境内

猿投神社参道並木



猿投神社参道の両側には、うっそうとしたスギの大木が並び、参拝者を迎えます。スギのほかにはヒノキも混じり、モチノキやサカキなどの常緑樹も植えられています。スギとヒノキは日本特産の建築材として使われるなどなじみのある樹種で、葉や樹皮の違いを比較観察するには、とてもよい場所です。参道の並木は夏の強い日差しを遮り、参拝者に涼を与えてくれます。

■ 所在地／猿投町大城 猿投神社境内

桃畠



猿投山のふもとには、県内でも指折りの桃畠が広がっています。桃の花はサクラの見ごろを1週間ほど過ぎたころに咲き出し、3月下旬から4月上旬にかけて見ごろとなります。淡い桃色の花が一面に咲き誇る様子は、まさに「桃源郷」を見ているようです。猿投北交流館では見ごろの時期に合わせて2階を見晴らし台として開放しており、一帯に広がる景色を楽しむことができます。

■ 所在地／加納町・舞木町



籠川にすむ生き物

籠川には、どんな生き物がすんでいるか知っていますか？
ここでは実際に採取されたおもな生き物を紹介します。



一生もしくはある時期(幼虫やサナギの間だけ)を水中で生活する昆虫のこと
をいいます。タイコウチやタガメのように
卵を産むために陸へ上がるものや、カ
ゲロウのように羽化して陸上生活を送
るものなど、一時的に陸を利用するも
のが多く、一生を完全に水中で過ごす
昆虫はそれほど見かけません。



ハグロトンボ



ヒメタイコウチ



サナエトンボ



コオニヤンマ



シジミ



カワニナ



その他の
水生動物



魚類

川にすむ生き物を調べると、川の環境がわかります。ここに掲載した魚は、籠川の中流域(青木橋周辺)で採取できたものです。



オイカワ



カマツカ



シマドジョウ



フナ



カワムツ



カワヨシノボリ



アブラハヤ



猿投まつりと棒の手

猿投神社で開かれる祭礼は「猿投まつり」と呼ばれ、郷土芸能の「棒の手」(愛知県指定無形民俗文化財)を奉納することがよく知られています。毎年10月の第2日曜日の前日に試楽祭、翌日の日曜日に本楽祭を行います。

試楽祭の見どころ

試楽祭は日の暮れたころから始まります。試楽祭の見どころは神輿渡御。この儀式はご神体を移した神輿を本社(猿投神社)まで運ぶというもので、猿投山の山頂付近の猿投神社東の宮と西の宮から周りを松明に照らされながら神輿が進む、幻想的な光景が見られます。

本楽祭の見どころ

本楽祭は火縄銃のごう音が響く中、警固隊の入場に続き、棒の手や巫女舞いの奉納が行われます。前日の試楽祭で本社の四方殿まで運ばれてきた神輿が神男たちに担がれ、本社、東の宮と西の宮に帰っていく神輿還御も大きな見どころです。



神輿渡御



巫女舞い



神輿還御



警固隊



献馬奉納



本楽祭で奉納される
勇壮で気迫に満ちた棒の手



子どもも勇ましく
棒の手を奉納



棒の手会館に収蔵されている棒の手の衣装や道具類(23ページ参照)

猿投まつりは、毎年10月の第2日曜日とその前日の土曜日に猿投神社で開催

猿投ざんざ節

猿投ざんざ節とは明治時代の後半、猿投山の治山事業に携わりながら歌われていた民謡です。当時は小学生でも治山事業に参加し、労働賃を得ていました。当時の男性の服装は百姓のもも引き、女性は半てんの袖なしの赤タスキ姿で、自由に体が動かせる格好で仕事をしていました。

現在では、ざんざ節保存会が設立され、猿投ざんざ節を後世に受け継いでいます。

ざんざ節 作詞・作曲者不詳 編曲 佐々木ひろし

トコヨイヤサノ調子デ コリヤザンザ
ソリヤソコダニヨー ヨーホホホイ
歌いなされよ どなたも様も
コリヤザンザ チョイトザンザ
野うた山うた ザんざ節ヨーホホホイ
トコヨイヤサノ調子デ コリヤザンザ
ソリヤソコダニヨー ヨーホホホイ
さなげ豊山みで 自慢のものは
石に浮き出し 菊の花 ヨーホホホイ

矢作川原で 昼寝をしたら
鮎の瀬のぼり 夢に見たヨーホホホイ
此は田畠か 鷄石か
鶏のむらぬに 時を告ぐヨーホホホイ
山は焼けても 山鳥立ぬ
我子可愛よて 身を焦すヨーホホホイ
見たか聞いたか 名古屋の城は
金のしゃちはこ 雨ざらしヨーホホホイ



猿投山西側の様子(1910年<明治43年>当時の写真)



張り芝作業(運搬中)



縛め固め作業

猿投打ち囃子太鼓

ば や し

江戸時代中頃の享保年間(1716~1736年)、流行病が猿投地方にまん延し、多数の死者も出ていました。農民は長年に渡り苦しんでいましたが、この辺りの領主が災難厄除けの祭りを催したところ流行病は終息したことから、この領主の勧めで旧暦の6月15日に祭りを行うようになったといわれています。

やがて領主は寺部から山車を譲り受けて来られ、祭りの当日はその山車に数多くの提灯を飾り付けて建速神社へ奉納するようになりました。さらにその数年後には現在の八草町から打ち囃子太鼓の指導を受け、山車の中で太鼓を叩きながら奉納するようになったということです。

山車の老朽化などにより一時は衰退していた祭りでしたが、昭和48年には地元の有志により山車を再建。打ち囃子太鼓も復活しました。昭和59年には保存会を設立し、貴重な文化が若い世代に継承されています。



山車の中で太鼓をたたく子どもたち



イベントで打ち囃子太鼓を披露



問合せ先

豊田市役所 地域振興部 猿投支所

〒470-0373 愛知県豊田市四郷町東畠70-1

電話 : 0565・45・1214

FAX : 0565・45・4824

E-mail: sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

このガイドブックは猿投地域予算提案事業で作成しました。

2016年 2月 作成

2017年10月 第2刷改版



**ハイグリッド・シティ
とよた**
環境モデル都市

